



# 平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年5月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 澁谷工業株式会社  
コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	40,929	10.7	104	△87.7	44	△94.8	△319	—
22年6月期第3四半期	36,979	18.1	851	—	870	—	250	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	△11.56	—
22年6月期第3四半期	9.26	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	74,868	28,509	38.0	1,028.36
22年6月期	68,269	28,988	41.8	1,055.20

(参考) 自己資本 23年6月期第3四半期 28,456百万円 22年6月期 28,513百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年6月期	—	5.00	—	—	—
23年6月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.4	220	△88.9	150	△92.6	△180	—	△6.52

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
 新規 一社 (社名 )、 除外 一社 (社名 )  
 (注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
 (注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期3Q 28,149,877株 22年6月期 27,500,315株  
 ② 期末自己株式数 23年6月期3Q 478,332株 22年6月期 477,911株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期3Q 27,598,229株 22年6月期3Q 27,022,647株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## (参考) 個別業績予想

平成23年6月期の個別業績予想 (平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	43,800	4.8	△880	—	△230	—	240	△52.8	8.69

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初には緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の減速や急激な円高などの影響で年末にかけて足踏み状態となりました。下期に入り、外需の持ち直しに支えられ回復軌道に戻ると見込まれておりましたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響で多くのマイナス要因が生じ、先行き不透明な状況となりました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は409億29百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益1億4百万円（前年同期比87.7%減）、経常利益44百万円（前年同期比94.8%減）、四半期純損失3億19百万円（前年同期は四半期純利益2億50百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当社グループは第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の変更を行っており、前年同期との比較は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて行っております。セグメント情報の開示における事業区分に関連する事項については、「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」に記載のとおりであります。

#### (パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業において、酒類用プラントおよび薬品・化粧品用プラントはほぼ横這いに推移したものの、食品用プラントは大型飲料用プラントの納入があったため、前年同期に比べ売上が伸長しました。

その結果、連結売上高は265億22百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は19億35百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

#### (農業用設備事業)

農業用設備事業において、西日本を中心とした柑橘類向け選果選別プラントの納入が増加したものの、落葉果樹類、根菜類向け選果選別プラントが前年同期に比べ減少しました。

その結果、連結売上高は57億30百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は86百万円（前年同期比88.1%減）となりました。

#### (メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業において、半導体製造装置は、国内向けが伸長したものの、海外向けに一服感が出たことから減少しました。医療機器は、好調な海外需要に支えられ大幅に増加し、切断加工機は、樹脂・ガラス・セラミック加工などの精密加工部品市場の好調さを受け、前年同期に比べ売上が伸長しました。

その結果、連結売上高は81億66百万円（前年同期比10.1%増）、営業損失は4億48百万円（前年同期は営業損失8億35百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比65億98百万円増の748億68百万円となりました。有利子負債については、E Bシステム森本工場の建設資金17億50百万円および医療機若宮工場の取得・改修資金10億円を金融機関から調達したことなどにより、前連結会計年度末比42億34百万円増の141億29百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末比4億79百万円減の285億9百万円となり、自己資本比率は38.0%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、39百万円の資金減少（前年同期は5億19百万円の資金減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が1億49百万円となり、仕入債務の増加13億95百万円による資金増加があったものの、たな卸資産の増加21億3百万円および未払金及び未払費用の減少15億77百万円による資金減少があったことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、34億99百万円の資金減少（前年同期は10億86百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が24億49百万円あったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、39億61百万円の資金増加（前年同期は5億44百万円の資金増加）となりました。これは主に借入金の増加によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より4億8百万円増加し82億10百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年2月4日に公表した連結および個別の業績予想を修正しております。具体的な内容につきましては、本日（平成23年5月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、税金等調整前四半期純損失が71百万円増加しております。

#### ② 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,547	8,147
受取手形及び売掛金	23,586	24,086
製品	457	377
仕掛品	6,034	4,151
原材料及び貯蔵品	1,217	1,087
繰延税金資産	928	890
その他	1,702	802
貸倒引当金	△1	△5
流動資産合計	43,472	39,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,754	7,326
機械装置及び運搬具(純額)	1,425	1,148
土地	10,702	10,461
建設仮勘定	258	436
その他(純額)	775	944
有形固定資産合計	22,915	20,317
無形固定資産		
のれん	1,281	1,301
その他	279	286
無形固定資産合計	1,561	1,588
投資その他の資産		
投資有価証券	3,408	3,451
長期貸付金	7	8
繰延税金資産	2,789	2,696
その他	751	706
貸倒引当金	△37	△37
投資その他の資産合計	6,918	6,826
固定資産合計	31,396	28,732
資産合計	74,868	68,269

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,371	13,979
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	7,870	4,976
未払法人税等	243	287
未払費用	2,122	3,718
賞与引当金	944	262
事業構造改善引当金	8	—
受注損失引当金	92	19
その他	4,694	2,741
流動負債合計	31,407	26,045
固定負債		
社債	90	150
長期借入金	6,108	4,708
退職給付引当金	8,140	7,646
役員退職慰労引当金	398	391
繰延税金負債	0	0
その他	212	339
固定負債合計	14,951	13,236
負債合計	46,359	39,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	9,842
利益剰余金	7,590	8,182
自己株式	△429	△428
株主資本合計	28,911	28,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△418	△436
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△36	△37
評価・換算差額等合計	△454	△474
少数株主持分	52	474
純資産合計	28,509	28,988
負債純資産合計	74,868	68,269

(2) 四半期連結損益計算書  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
売上高	36,979	40,929
売上原価	30,779	35,211
売上総利益	6,199	5,718
販売費及び一般管理費	5,348	5,613
営業利益	851	104
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	28	30
投資有価証券売却益	21	4
持分法による投資利益	—	3
固定資産賃貸料	48	40
その他	117	72
営業外収益合計	220	156
営業外費用		
支払利息	128	134
手形売却損	17	10
投資有価証券売却損	3	6
持分法による投資損失	0	—
為替差損	4	12
その他	46	51
営業外費用合計	201	216
経常利益	870	44
特別利益		
固定資産売却益	4	0
国庫補助金	—	522
貸倒引当金戻入額	2	3
事業構造改善引当金戻入額	12	—
その他	3	—
特別利益合計	22	526
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産処分損	2	4
投資有価証券評価損	33	9
施設利用権評価損	13	—
減損損失	—	104
事業整理損	—	427
厚生年金基金脱退拠出金	—	68
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	70
その他	8	34
特別損失合計	59	720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	833	△149
法人税、住民税及び事業税	499	310
法人税等調整額	90	△111
法人税等合計	589	198
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△347
少数株主損失(△)	△6	△28
四半期純利益又は四半期純損失(△)	250	△319

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	833	△149
減価償却費	1,040	1,138
のれん償却額	148	164
減損損失	—	104
事業整理損失	—	378
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	70
退職給付引当金の増減額(△は減少)	171	494
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	547	682
受注損失引当金の増減額(△は減少)	47	73
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△55	8
受取利息及び受取配当金	△32	△35
支払利息	128	134
持分法による投資損益(△は益)	0	△3
投資有価証券売却損益(△は益)	△17	2
投資有価証券評価損益(△は益)	33	9
補助金収入	—	△522
売上債権の増減額(△は増加)	△5,365	492
前受金の増減額(△は減少)	1,778	351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221	△2,103
仕入債務の増減額(△は減少)	2,253	1,395
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△1,436	△1,577
その他	△20	△588
小計	△137	525
利息及び配当金の受取額	33	44
利息の支払額	△128	△142
法人税等の支払額	△287	△466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△519	△39

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△261	△1,531
定期預金の払戻による収入	261	540
投資有価証券の取得による支出	△315	△87
投資有価証券の売却による収入	408	95
有形固定資産の取得による支出	△298	△2,449
有形固定資産の売却による収入	5	67
無形固定資産の取得による支出	△55	△44
子会社株式の取得による支出	—	△21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△756	—
貸付けによる支出	△170	△101
その他	95	31
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,086</b>	<b>△3,499</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	7,773	6,806
短期借入金の返済による支出	△7,397	△3,941
長期借入れによる収入	1,900	2,750
長期借入金の返済による支出	△1,419	△1,309
社債の償還による支出	△30	△60
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△266	△269
その他	△14	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>544</b>	<b>3,961</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△13
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△1,058</b>	<b>408</b>
現金及び現金同等物の期首残高	6,652	7,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,593	8,210

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

	パッケージングプラント事業 (百万円)	メカトロシステム事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,031	7,595	351	36,979	—	36,979
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	190	237	—	428	△428	—
計	29,222	7,833	351	37,407	△428	36,979
営業利益又は営業損失(△)	2,969	△983	△49	1,935	△1,084	851

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦内の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,914	502	695	6,112
II 連結売上高(百万円)				36,979
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.3	1.4	1.9	16.5

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「農業用設備事業」および「メカトロシステム事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
パッケージングプラント事業	洗浄機、殺菌機、充填機、キャッピング機、ラベル貼機、函入函出積荷機、コンベア、製函機、函詰封かん機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど
メカトロシステム事業	レーザ加工機やレーザマーキングシステムなどのレーザ応用システム、ハンダボールマウンタなどの半導体製造システム、レーザ手術および治療装置や人工透析システムなどの医療機器など

2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	農業用設 備事業	メカトロ システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,522	5,730	8,166	40,418	510	40,929	—	40,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165	541	2	710	142	852	△852	—
計	26,687	6,272	8,168	41,128	653	41,782	△852	40,929
セグメント利益又は損 失(△)	1,935	86	△448	1,573	△168	1,405	△1,300	104

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業、環境事業および繊維事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,300百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,303百万円および棚卸資産等の調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

従来の「パッケージングプラント事業」は、第1四半期連結会計期間より「パッケージングプラント事業」および「農業用設備事業」の2つの報告セグメントに分割して表示しております。また、従来「メカトロシステム事業」に含めていた洗浄事業および環境事業は、「その他」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を、当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントにより表示すると、以下のとおりとなります。

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	パッケージ ングプラ ント事業	農業用設 備事業	メカトロ システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,646	6,385	7,415	36,447	531	36,979	—	36,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	234	239	2	475	239	715	△715	—
計	22,880	6,624	7,418	36,923	771	37,694	△715	36,979
セグメント利益又は損 失(△)	2,243	724	△835	2,132	△198	1,934	△1,083	851

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。